

親字	音訓	甲骨文・金文・古文 (殷・西周・春秋・戦国)	説文解字 篆文	隷書 (秦・前漢・後漢)	草書	行書	楷書 (南北朝から初唐)	正字体 楷書	日本上代 から 平安初期
売	バイ うる られる								王勃詩序
賣	人②								
壺	コ つぼ								干祿字書
壺	②								五経・土部
壺									五経・土部
変	ヘン かえる かわる								王勃詩序
變	②								王勃詩序
夏	カゲ なつ								王勃詩序
夏	教2 常①								
夕	セキ ゆう ゆうべ								王勃詩序
夕	教1 常①								

平安中期 から 室町	江戸版本	康熙字典 1716年 部首・画数	弘道軒 四号	夏目漱石 坊っちゃん 明治39年	通字体活字 明治41~ 大正3年	漢字 整理案 大正8年	文部省 活字 昭和10年	当用 漢字表 昭和21年	太宰治 人間失格 昭和23年	当用漢字 字体表 昭和24年	教育漢字 平成4年	参考	
												卖 現代中国	
													壺 現代中国
													变 現代中国
													夏 現代中国
													夕 現代中国

【売】大徐の大徐本と段注本の字体がわずかに異なる。
 【壺】陸軍幼年学校用字便覧では「壺」と同字とする。漱石の字は冠より上が一画少なく下が一画多い。陸軍幼年学校用字便覧には「壺ノ下ハ亞ニ非ズ。」とある。
 【変】秦の睡虎地秦簡も漢代の文字も下部は「又」。大徐篆文

の字体が誤りなのではないだろうか

親字	音訓	甲骨文・金文・古文 (殷・西周・春秋・戦国)	説文解字 篆書	隷書 (秦・前漢・後漢)	草書	行書	楷書 (南北朝から初唐)	正字体 楷書	日本上代 から 平安初期
外	ガイ・ゲ そとは はずれる ほか								王勃詩序
夙	シュク つとに はやい								
多	タ おおい まさに								王勃詩序
夜	ヤ よる								王勃詩序
夢	ム ゆめ くらい								王勃詩序
夢									

【夢】説文に𦉳部の異体字があり、大徐本と段注本の字体が異なる。干祿字書の〈俗〉と〈正〉は字体の違いというよりも、筆遣いと筆順の違いだけのように見える。康熙字典では「夢」と「𦉳」は俗字として別の部首に出ている。「夢」の使用例は少ないが、漱石は一貫して「夢」を書いている。現代

中国は「夢」を採用している。集字聖教序の字体は行書と草書のどちらにするか迷う。

平安中期 から 室町	江戸版本	康熙字典 1716年 部首・画数	弘道軒 四号	夏目漱石 坊っちゃん 明治39年	通字体活字 明治41~ 大正3年	漢字 整理案 大正8年	文部省 活字 昭和10年	当用 漢字表 昭和21年	太宰治 人間失格 昭和23年	当用漢字 字体表 昭和24年	教育漢字 平成4年	参考
外												外 現代中国
夙												夙 干祿(俗) 現代中国
多												多 郭店楚簡 現代中国
夜												夜 古文 現代中国
夢												夢 干祿(俗) 現代中国
夢												

親字	音訓	甲骨文・金文・古文 (殷・西周・春秋・戦国)	説文解字 篆文	隸書 (秦・前漢・後漢)	草書	行書	楷書 (南北朝から初唐)	正字体 楷書	日本上代 から 平安初期
大	タイ おお おおい おおきい								王勃詩序
									大
									大
太	タイ ふとい ふとる はなはだ								王勃詩序
泰	タイ おごる やすい								光明皇后
天	テン あま あめ								王勃詩序
									王勃詩序
									風信帖
									伝空海
夫	フ・フウ おとこ おの かの それ								王勃詩序

平安中期 から 室町	江戸版本	康熙字典 1716年 部首・画数	弘道軒 四号	夏目漱石 坊っちゃん 明治39年	通字体活字 明治41~ 大正3年	漢字 整理案 大正8年	文部省 活字 昭和10年	当用 漢字表 昭和21年	太宰治 人間失格 昭和23年	当用漢字 字体表 昭和24年	教育漢字 平成4年	参考
大	大	大	大	大			大	大	大	大		大
粘葉本朗詠	江戸方角	大0										現代中国
太	太	太	太	太			太	太	太	太		太
粘葉本朗詠	真蹟文様大	大1										現代中国
泰	泰	泰	泰	泰			泰	泰	泰	泰		泰
粘葉本朗詠	節用	水5										干祿(俗) 現代中国
天	天	天	天	天			天	天	天	天		天
粘葉本朗詠	節用	大1										現代中国
夫	夫	夫	夫	夫			夫	夫	夫	夫		夫
粘葉本朗詠	節用	夫1										現代中国

【大】説文の篆文と籀文は同じ大部にあるが、別々に載っている。泰山刻石の字体は説文の字体と異なる。大徐本と段注本の籀文の字体が異なり、段注本の籀文は泰山刻石の字体と合致する。

【太】元は「太」は「泰」の古文だという。

【天】泰山刻石と説文の字体が異なる。

【夫】説文の「夫」の字体の下部が「大」の字体と合致しない。

親字	音訓	甲骨文・金文・古文 (殷・西周・春秋・戦国)	説文解字 篆書	隷書 (秦・前漢・後漢)	草書	行書	楷書 (南北朝から初唐)	正字体 楷書	日本上代 から 平安初期
夷	イ えびす えみし たいらげる 人①								王勃詩序
									王勃詩序
									王勃詩序
奄	エン おおう 人①								聖武天皇雜集
									聖武天皇雜集
奇	キ あやし くし めずらしい 常①								王勃詩序
									王勃詩序
奇	②								杜家立成
奈	ナ・ナイ ダイ なんぞ いかに いかに 人→新①								珣玉集
									珣玉集
奈	ダイ・ナイ いかに いかに いかに ぞ からなし ④								越州録
									越州録
奉	ホウ フ たてまつる 常①								王勃詩序
									王勃詩序
奔	ホン はしる 常①								王勃詩序
									王勃詩序

【奈】「奈」は説文不録だが、康熙字典に「同奈」とあるので「奈」を載せた。

平安中期 から 室町	江戸版本	康熙字典 1716年 部首・画数	弘道軒 四号	夏目漱石 坊っちゃん 明治39年	通字体活字 明治41~ 大正3年	漢字 整理案 大正8年	文部省 活字 昭和10年	当用 漢字表 昭和21年	太宰治 人間失格 昭和23年	当用漢字 字体表 昭和24年	教育漢字 平成4年	参考
												夷 現代中国
												奄 現代中国
												奇 現代中国
												奈 現代中国
												奈 現代中国
												奉 現代中国
												奉 現代中国
												奔 現代中国
												奔 現代中国